

第2(2・3上)学年〈A案〉 — 年間学習指導計画作成資料(平成29年度〜) —



※実際の立案に当たっては、各校の実態に応じてB案の題材と差し替えたり教材を変更したりしてご活用ください。

	題材名	題材のねらい	指導事項	主な学習の窓口 〔共通事項〕	教材名	学習目標 (教科書掲載他)	扱い時数の 目安(計35)
1学期	曲想を生かして、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ●タンギングやアーティキュレーション、サミングなどのリコーダーの基礎的な奏法を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	歌唱—ア		夢の世界を BINGO GAME RHYTHM GAME	歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れにのって合唱しよう。 音符、休符、記号などの名前を確認しましょう。 下の図を使ってリズムをつくりましょう。	4
			器楽—イ		◆アルト リコーダー LESSON 2 (p.10～13)	リコーダーを演奏しよう。	
	パートの役割を理解し、 曲想を生かして、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、音の重なり方やパートの役割を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。 ●パートの役割や楽器の特徴を理解し、全体の響きのバランスを考えながら表現を工夫して合奏する。	歌唱—ア、ウ		翼をください My Voice!	曲想を感じ取り、パートの役割を理解して合唱しよう。 自分の思いを歌声にのせよう！	4
			器楽—ウ		◆ラヴァーズ コンチェルト (p.52)	パートの役割を感じ取りながら、豊かな響きになるように工夫して演奏しよう。	
詩と音楽とのかかわりを 理解して、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりや、旋律の音の動き、強弱の変化から旋律のまとまりを理解し、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。	歌唱—ア		心の歌 夏の思い出 (共通教材)	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。	2	
		歌唱—ア、ウ		夏の日の贈りもの	旋律の音の動きを理解し、表現を工夫して歌おう。		
曲の構成を理解して、 曲想を味わおう	●曲の構成と曲想とのかかわりを理解して、そのよさや美しさ、オーケストラの響きを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ●表現したいイメージをもち、言葉からもととなるリズムをつくり、それらを組み合わせたり反復、変化させたりしながら構成や全体のまとまりを工夫して、リズムアンサンブルをつくる。	鑑賞—ア		交響曲第5番 ハ短調	曲の構成に注目して曲想の変化を味わおう。	4	
		創作—イ		Let's Create!	構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。		
2学期	響きの美しさを味わおう	●諸外国の様々な合唱の特徴から音楽の多様性を理解して、アカベラによる響きの美しさを味わいながら聴いたり、表現を工夫して合唱したりする。 ●和音の移り変わりを感じ取って、表現を工夫しながら旋律をつくる。	鑑賞—ウ		ア カベラの合唱曲	アカベラによる響きの美しさを味わいながら聴こう。	4
			歌唱—ウ		Kum Ba Yah	アカベラによる響きの美しさを味わいながら合唱しよう。	
			創作—ア		My Melody	和音の音を使って旋律をつくろう。	
	日本の歌やカンツォーネの よさや美しさを味わい、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌やカンツォーネのもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。	歌唱—ア		心の歌 荒城の月 (共通教材)	歌詞や旋律が醸し出す雰囲気味わいながら歌おう。	4
歌唱—ア、イ				サンタルチア	曲想を生かして表情豊かに歌おう。		
歌唱—ア、ウ				歌い継ごう 日本の歌	地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。		
オペラの特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●オペラの音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	鑑賞—ア、イ		「アイダ」から	オペラに親しみ、その音楽を味わいながら聴こう。	2	
歌舞伎の特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●歌舞伎の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ●長唄にふさわしい発声や言葉の特性を理解し、それらを生かしながら表現を工夫して唄う。	鑑賞—ア、イ、ウ		「勸進帳」から	日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。—歌舞伎—	3	
歌唱—イ		長唄「勸進帳」から	声や音楽の特徴を感じ取って唄おう。				
3学期	日本の郷土芸能や伝統音楽の 特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●様々な郷土芸能の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ●箏の特徴やいろいろな奏法を理解し、曲想や音色を味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	鑑賞—イ、ウ		日本の郷土芸能/ 受け継ごう！郷土の芸能	人々の暮らしの中で受け継がれてきた日本の郷土芸能に親しみ、そのよさを味わおう。	4
			器楽—ア、イ		◆さくらさくら (p.80)	いろいろな奏法による音色の違いを感じ取って演奏しよう。	
			器楽—ア、ウ		◆「寄せの合方」による リズムアンサンブル (p.84)	日本の伝統音楽特有のリズムや速度の変化を感じ取って演奏しよう。	
仲間とともに、 表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱—ア、ウ		心通う合唱 指揮をしてみよう！	仲間といっしょに、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。 指揮をするときのポイントをつかもう。	4	

※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

国歌 君が代

… 音色 … リズム … 速度 … 旋律 … テクスチャ … 強弱 … 形式・構成

… 鑑賞教材 ◆ … 器楽教材 (中学生の器楽)